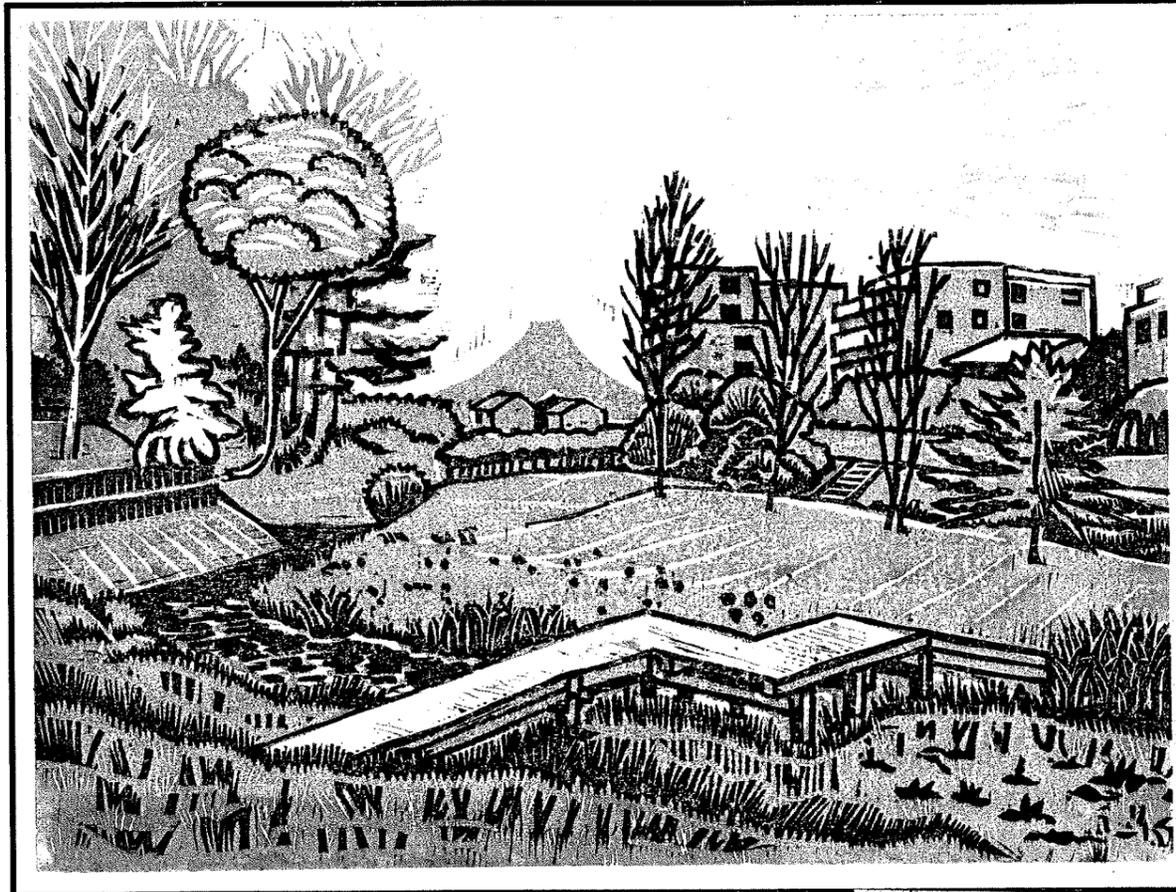


いたちかわらばん

鮎川・独川・川原番・瓦版 冬号



版画 宗森英夫

稲荷森の水辺より富士をのぞむ

初夢 (二〇〇〇年正月、野七里の林の中、話し声で聞こえてくる。)

「いたちかわらばん」は版画とともに思わず目を引く素敵な広報紙ですね。お役所的な枠を払った質の高い内容で楽しみです。

「くらしの水はどこへ？」(秋号の記事)の図解で「洗剤は下水処理を困難にしています」とありますが、もっと積極的に合成洗剤の害を述べて、粉石けん類などに変えていくような働きかけも欲しいと思いました。大企業のCMに屈することなく「水」の大切さの基本にぜひ目を向けさせて欲しいと思います。(笠間町の女性より)

お知らせに載せたい情報、感想やいたち川にまつわる発見など、お便りをお待ちしています。

いたち川OTASUKE隊は、区民の有志が集まった会です。このかわらばんも区民が主体で編集しています。興味のある方はだれでも気軽に参加して下さい。

発行：独川OTASUKE隊(いたちがわおたすけたい)
OTASUKE隊事務局：栄区役所区政推進課企画調整係 〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19
TEL 045-894-8331 FAX 045-895-2260
栄土木事務所下水道係 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-6-1
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421
(お便り・お問い合わせはこちらまで)

冬のお知らせ

栄区生涯学習公開講座
「生涯学習で何を学びますか」
～生涯学習社会の構築を目指して～
日時/2月22日(月) 10時～12時
場所/栄区役所新館(保健所棟)4階会議室
講師/村橋克彦(横浜市立大学教授)
参加費/無料
定員/100人(応募者多数時抽選)
問合せ/栄区生涯学習支援係 ☎894-8395
申込方法/往復葉書に住所・氏名・電話番号を記入のうえ、上記係「公開講座:生涯学習で何を学びますか」担当宛 1月29日(金)必着

SAKAEヤングフェスティバル
日時/3月21日(日) 10時～15時
場所/区役所駐車場・栄公会堂
主催/SAKAEヤングフェスティバル実行委員会
問合せ/栄区生涯学習支援係 ☎894-8395

市民環境学会
日時/2月20日(土) 10時～17時
場所/神奈川県自治総合研修センター(地球市民神奈川プラザ内)
内容/地域で環境保全活動に取り組んでいるグループの活動発表
定員/150人
申込/電話で2月5日(金)までに県環境科学センター企画調整部 ☎0463-24-3311へ

栄図書館開館10周年記念事業
～地域の民話を 地域の手づくりで紙芝居にし 地域の子どもたちに知ってもらおう～
栄図書館では開館10周年記念事業として「本郷の民話と伝説」を素材にし、地域の手づくりによる紙芝居を作成します。
作成するにあたり、3月15日まで地元の方から寄付金を募集しておりますのでご協力お願いいたします。
問合せ/栄区民話紙芝居制作実行委員会事務局 栄図書館 ☎891-2801

市民環境学会
日時/2月20日(土) 10時～17時
場所/神奈川県自治総合研修センター(地球市民神奈川プラザ内)
内容/地域で環境保全活動に取り組んでいるグループの活動発表
定員/150人
申込/電話で2月5日(金)までに県環境科学センター企画調整部 ☎0463-24-3311へ

第7回いたち川シンポジウム
日時/3月27日(土) 13:30～16:00
場所/神奈川県自治総合研修センター(地球市民神奈川プラザ内)
主催/いたち川と親しむ会
問合せ/いたち川と親しむ会 滝口 穂 ☎891-3530

環境助成成果発表会
環境保全のボランティア活動に対し、助成される制度があります。それを受けた団体の発表&交流会です。
荒井沢緑楽塾楽農とんぼの会も参加します!
日時/3月13日(土) 13時～17時
場所/神奈川県庁(関内)第6会議室

開館1周年記念!!
栄区民文化センター「リリス」
①ベギー・葉山&秋山義孝
日時/2月5日(金) 19:30開場 20:00開演
入場料/4,000円
②ウィーン・セリナーデ
日時/2月7日(日) 14:30開場 15:00開演
入場料/4,000円
③三橋貴風・尺八サルサ「シャルサ」
日時/3月12日(金) 19:30開場 20:00開演
入場料/3,000円
問合せ/栄区民文化センター「リリス」 ☎896-2000

講演会「環境汚染とダイオキシン」
日時/3月20日(土) 13時～16時
場所/地球市民神奈川プラザ・ホール
講師/中村梧郎
参加費/無料
問合せ/島岡 ☎894-3856 西岡 ☎892-6898

横浜自然観察の森 行事のお知らせ!
①バードウォッチング入門
日時/2月21日(日) 9時～13時
集合場所/自然観察センター
②季節の森を歩こう
日時/2月28日(日) 12時30分～14時
集合場所/自然観察センター
いずれも参加自由ですので、ぜひ参加ください。
問合せ/横浜自然観察の森自然観察センター ☎894-7474



読者からの投稿はガキを紹介

「いたちかわらばん」は版画とともに思わず目を引く素敵な広報紙ですね。お役所的な枠を払った質の高い内容で楽しみです。

「くらしの水はどこへ？」(秋号の記事)の図解で「洗剤は下水処理を困難にしています」とありますが、もっと積極的に合成洗剤の害を述べて、粉石けん類などに変えていくような働きかけも欲しいと思いました。大企業のCMに屈することなく「水」の大切さの基本にぜひ目を向けさせて欲しいと思います。(笠間町の女性より)

お知らせに載せたい情報、感想やいたち川にまつわる発見など、お便りをお待ちしています。

いたち川OTASUKE隊は、区民の有志が集まった会です。このかわらばんも区民が主体で編集しています。興味のある方はだれでも気軽に参加して下さい。

新しい隊員(予定!)へのメッセージ

2年前までは、名前すら知らなかった川が、今では生活の一部になっている。まだ日差しの高い時間にいたち川プロムナードを歩くと、木陰が気持ちいい。目を閉じると川の流れる音や鳥のさえずりが聞こえる。そんなときは私の中に芽生えた小さな命が語りかけている気がして、思わずお腹に手がいく。

どうかこの子が五体満足で無事に生まれますように・・・健康で元気な子でありますように・・・できれば、親のいいところばかりをとった可愛い子でありますように・・・

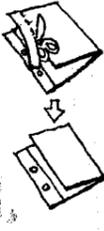
どんどん欲張りになっていく。そんな願い事を唱えながら、幸せそうに、のしのし歩く私の姿をいたち川の鯉たちも半分あきた顔で、見送っているのでしょうか?

将来この子が大きくなったとき、手をつないでここを散歩できたらいいなと思う。そのとき何を聞かれても答えられるように、今、「いたち川マップ」で勉強している。(ぜっぺき)

発行年月
1999年1月
(通刊4号)

発行：独川OTASUKE隊(いたちがわおたすけたい)
OTASUKE隊事務局：栄区役所区政推進課企画調整係 〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19
TEL 045-894-8331 FAX 045-895-2260
栄土木事務所下水道係 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-6-1
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421
(お便り・お問い合わせはこちらまで)

この部分を切り取ってファイルすると便利です。



こんなふうになったらいいな
OTASUKE隊員のわがまま初夢

2009いたちが◎！エコ・ミュージアム構想

1997年3月に開催された「いたちが◎！ミュージアム」から、はや2年。「いたち川情報マップ」片手に思いを馳せていたら、こんな夢を見てしまいました。それは・・・なんと今から10年後、2009年のいたち川。この流域がステキなミュージアムになっていました。

人、物、エネルギーが地域で循環するモデルテーマパーク

- ・横浜郊外、鎌倉と尾根を境につながる自然と街が共存する滞在型・体験型、人々の生活そのものが繰り広げられる生きたミュージアムエリアです。
- ・いたち川の流域に、三方の分水嶺を境として設定されています。
- ・横浜市の中でも先進的なふるさと景観地区のひとつに指定されています。
- ・約12万人の暮らしの場であるとともに、世界各地から、自然と共生するエコシティのモデルとして観光客が訪れます。

流域でお仕事

- ・自然と共生したライフスタイルや、エコビジネスの実践の場となっています。
- ・ミュージアム内はミニFM、衛星通信によるガイドシステムがあり、映像をふくめた情報を得ることができます。
- ・住民だれもが、得意なことや好きなことを互いに、そして観光客に伝えることで成り立つ市民ビジネスがたくさん。

交通網がより便利に

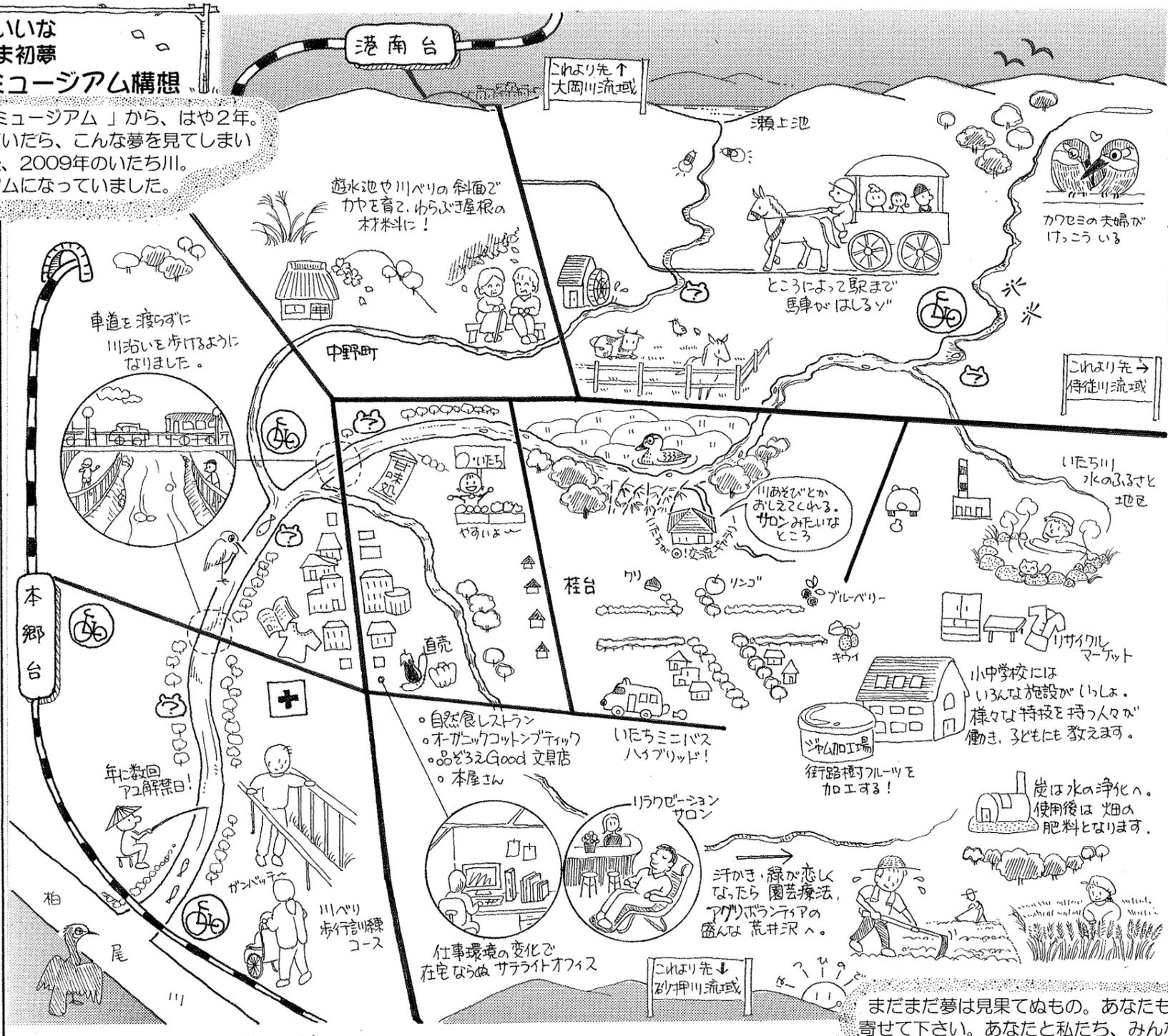
- ・ミュージアム内は、住民出資・経営型のレンタサイクルとミニバスが運用されています。

オ・ト・ク

- ・ミュージアム内だけ流通するエコマネーがあって、ボランティア活動の成果を積み立てられます。単位はpei(いたちっペ+pay+栄)。

住民だれもがエンターティナー

- ・家々の垣根やベランダなどは四季の花に彩られ、道ゆく人の目を楽しませてくれます。
- ・川沿いの家は、散歩する人へ見せるような造りとなっており、川側から出入りできます。
- ・ホームステイも盛んです。



(文:AKUTO・宏 絵:野良にゃん)

川べりは人・モノ・情報交差点

- ・川沿いの歩道は、車道に分断されることなく歩くことができます。
- ・川沿いやメインストリートに面した住宅の住民は「住民学芸員」です。案内をするだけでなく、いたち川の維持管理プログラムを絶えずチェックしては、いたち川について情報公開しています。
- ・川边にはお休み処があって、ちょっと一服。
- ・川边では1日(つ・いたち)に屋台や市、フリーマーケットがたちます。

農地は緑を守る

- ・ミュージアム内の農地は住民の手で耕作されており、住民の食生活がある程度まかっています。災害時の食料供給もばっちり。

川で泳げる！きれいな水

- ・いたち川は、隅から隅まで、まるで人の手が入ってないように感じる保全管理が行われています。風景になじみ、生き物の影が濃くなりました。多彩な多自然型工法によるものです。
- ・家庭排水も洗剤などの品質変化できれいになりました。各家庭にパイオ浄化槽が設置され、住宅地の中にも津和野のようなせせらぎが生まれました。
- ・雨水は道路内のせせらぎを流れ、いたち川へ水が流れていく様子を観察できます。

みんないっしょに

- ・栄共済病院と、区内の診療所を拠点に散歩道、自転車道がつながっていて、川沿いや森(瀬上や荒井沢)などで心身のリハビリが行われます。
- ・障害者の人たちも一緒になって働ける施設がいろいろ。果実加工場や川べり休憩所、農業施設などなど。小中学校に併設されています。

ムリ・ムダのないエネルギー利用

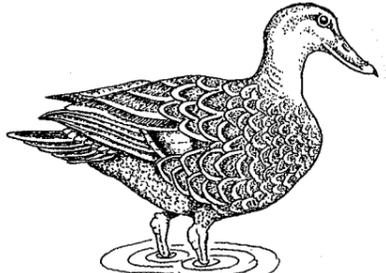
- ・風力、太陽光、水力による流域内発電。
- ・ダイオキシンなんて昔の話。生ゴミはコンポストセンターでたい肥にして農地に帰ります。メタンガスを利用して発電したり、円海山を望む露天風呂まであります。
- ・公衆トイレはバクテリア浄化方式。

まだまだ夢は見果てぬもの。あなたもごらんになった「夢」を寄せて下さい。あなたと私たち、みんなの「まさ夢」となりますように・・・

からシすモも水してにががいす。をちま雄雌野れあとル放まる鳥ガこ一いたち川流域の生態系は、自然と共生するライフスタイルや、エコビジネスの実践の場となっています。ミュージアム内はミニFM、衛星通信によるガイドシステムがあり、映像をふくめた情報を得ることができます。住民だれもが、得意なことや好きなことを互いに、そして観光客に伝えることで成り立つ市民ビジネスがたくさん。ミュージアム内は、住民出資・経営型のレンタサイクルとミニバスが運用されています。ミュージアム内だけ流通するエコマネーがあって、ボランティア活動の成果を積み立てられます。単位はpei(いたちっペ+pay+栄)。ミュージアム内では四季の花に彩られ、道ゆく人の目を楽しませてくれます。川沿いの家は、散歩する人へ見せるような造りとなっており、川側から出入りできます。ホームステイも盛んです。

いたち川周辺の生き物④
アヒルと間違われるかも...

アヒルは、川に生息する水鳥の一種で、雄は派手な色彩で、雌は地味な褐色です。アヒルは、川に生息する水鳥の一種で、雄は派手な色彩で、雌は地味な褐色です。アヒルは、川に生息する水鳥の一種で、雄は派手な色彩で、雌は地味な褐色です。



リレートークその四
あるサラリーマンの物語

「抽川」これ何て読むの？パソコンにも表示されないんだ。市内の川じゃ、ない？

「何だろ？」

「何だろ？」

「何だろ？」

「抽川」これ何て読むの？パソコンにも表示されないんだ。市内の川じゃ、ない？

「何だろ？」

「何だろ？」

「何だろ？」